

2020年 日本学術会議推薦会員任命拒否問題に関する経緯

8月31日	日本学術会議の事務局が候補者105人の一覧表を安倍晋三首相(当時)に提出した。
9月16日	安倍晋三首相が退任。菅義偉自由民主党総裁が第99代内閣総理大臣に任命され菅義偉内閣が発足
9月28日	内閣府から日本学術会議の事務局に、任命対象者の名簿が送付される。内閣府は6人を除外し99人を記載していた
10月1日	加藤勝信官房長官は記者会見で、会員の一部を任命しなかったことを明らかにした
10月1日	「赤旗」が、菅首相が学術会議推薦の新会員のうち、6人の任命を拒否したと報道。加藤勝信官房長官が任命拒否について「人事権を通じて一定の監督権の行使は可能」と発言。
10月1日	99人が会員に任命された。また、梶田隆章が会長に選出された。
10月2日	加藤勝信官房長官は記者会見で、人事を見直す考えがないと述べた
10月2日	この問題について国会内で野党合同ヒアリングが開かれた。任命されなかった会員候補の有識者3人も出席し、「内閣にイエスという提言や法解釈しか聞かなくなるのは禍根を残す」「学問の自由に対する暴挙だ」などと主張した。
10月2日	自治体学会MLへ、この問題について初投稿がなされる。
10月3日	日本学術会議は幹事会を開催し、菅首相に対して理由を説明し6人を任命するように求める要望書を決定し、内閣府に送付した。
10月4日	立憲民主党の枝野幸男代表は除外した行為を「明確な違法行為だと断言する」と強く非難した。そのうえで、「これだけ大きなことをやっておいて、説明責任を果たさないで逃げることはない」と期待したい」と述べ、菅義偉首相が国会の閉会中審査で経緯を説明すべきだとの考えを示した。
10月5日	菅首相は内閣記者会のインタビューで、任命を拒否した理由を「(日本学術会議の)総合的、俯瞰的な活動を確保する観点から判断した」と説明したが、一方で判断の具体的な理由については明らかにしなかった
10月5日	金井理事長より、この問題について理事会で検討を始めたことが報告される。
10月7日	衆議院の閉会中審査が行われ、任命しなかった理由について内閣府は「総合的・俯瞰的」と説明。

10月8日	日本共産党の田村智子議員が参院内閣委員会で、1983年、中曽根康弘首相(当時)が「政府の行為は形式的任命」と国会で答弁していることを示し政府を追及。
10月9日	野党合同ヒアリングに、2人の元学術会議会長が出席、任命拒否の違法性を指摘。菅首相が学術会議の105人の推薦名簿を「見ていない」と発言。
10月11日	自治体学会臨時評議員会開催→検討のための委員会設置が決定
10月15日	理事長声明公表
10月16日	菅首相が日本学術会議の梶田隆章会長と会談した。梶田会長は、6人の速やかな任命と、任命しなかった理由の説明を求める要望書を首相に渡した。
10月24日	「任命拒否は想定せず」と記された政府の資料が明らかになる。
10月23日	自治体学会議員研究ネットワーク有志による意見書提出
10月25日	自治体学会有志による声明提出
10月26日	臨時国会開会。菅首相が所信表明演説で、学術会議問題に触れず。
11月2日	衆議院予算委員会で菅首相は、会員の選出方法について「閉鎖的で既得権益のようにになっている」と発言した。
11月〇日	自治体学会学術問題検討委員会設置

※ウィキペディア

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%AD%A6%E8%A1%93%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E3%81%AE%E4%BB%BB%E5%91%BD%E6%8B%92%E5%90%A6>)

しんぶん赤旗(https://www.jcp.or.jp/akahata/aik20/2020-11-01/2020110103_01_0.html)

より筆者作成